

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

臨床研究名称： 自宅での大腸内視鏡前処置による検査への影響

研究の目的

大腸内視鏡検査は、便潜血陽性や腹痛、血便の精査、重複がんの検索などさまざまな目的で行われています。大腸内視鏡検査は、検査前の準備として食事制限から腸管内洗浄まで患者様ご自身の負担が大きい検査のひとつです。特に腸管内洗浄は、検査当日の朝から数時間をかけて腸管洗浄液を服用して何度も排便を繰り返すことから、精神的身体的な疲労が大きく、検査を敬遠する一つの要因ともなっています。

そこで当院では数年前から、自宅で腸管洗浄液を服用・排便し精神的負担を少なく前処置を行う試みを進めており、現在では外来検査の約40%が自宅での腸管洗浄をおこなっています。

現状は特に問題なく検査を施行できているものの、実際の腸管洗浄状況や検査精度の検証はされていないため、外来検査での前処置別（院内または自宅）による検査の精度を比較検討します。

研究実施期間： 実施許可日 ～ 2028年03月31日

対象となる方： 2023年1月1日から2025年12月31日までの期間、当院にて大腸内視鏡検査を施行した外来患者様。

利用させていただきたい試料・情報について

（他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む）

本研究では、電子カルテ内から対象となる方の情報（性別、年齢、腹部手術歴、過去大腸内視鏡検査回数、大腸疾患既往歴、検査理由、大腸内視鏡検査における腸管洗浄度、大腸内視鏡検査結果）を利用します。この利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して（これを匿名化といいます）行います。

本研究は、院内群（病院内で前処置をおこなった方）と自宅群（自宅で前処置を行った方）に分けて、その検査精度（腸管洗浄度と病変陽性率）を統計学的に比較検討します。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない患者さん／その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

本件連絡先	弘前大学大学院医学研究科 地域医療学講座 菊池英純 連絡先電話番号：0172-39-5053 E-mail: hidezumi@hirosaki-u.ac.jp
-------	---